



相手を 知る



それぞれ自治体は大企業です。中でも、東京都は、グローバルに展開する大手企業です。就職するためには、相手を研究することが必須です。

何を求め、何を实行しようとしているのか。自分なら何ができるのか。どのようにしたいのか。

公立、私立を問わず、教員を目指す時、以下の事について考えることは必須です。

どのような生徒を育てるのか。その目的は何なのか。そのために自分はどのような事がしたいのか。

この考えが、目指す自治体の教育計画や学校の教育目標と沿っていく必要があります。

教員になりたい理由が「いい先生に出会ったから」、「学校生活が楽しかったら」では、志望のきっかけであっても、志望理由にはならないのです。「これからの時代に必要な力の育成」について読み込みましょう。



小論文や面接練習の対策として、志望する相手が【どのような教育を求めているのか】は、常にアップデートしましょう。

例えば、[千葉県教育委員会ホームページ](http://www.chiba-kyoiku.com/)トップに掲載事項

▶学校人権教育指導資料 令和 8(2026)年 4 月 20 日

[学校人権教育指導資料／千葉県](#)

⇒①学校人権教育指導資料はまず読む②なぜこれが掲載されるに至ったのか知る（面接での問：教員の服務事故はどのような内容がありますか）③「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」のためにあなたはどのようなことに取組みますか。（千葉県は小論文がありませんが、面接は問われます。これは神奈川県目標にも通じます）④自分の言葉で問答例を作ってみましょう。書くことで、焦点が明確になり整理されます。

例えば、東京都教育委員会ホームページ

▶東京都が目指す「次世代の学びの基盤プロジェクト」～「新たな教育のスタイル」の確立に向けて～2025年 6 月 26 日 https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/basic/plan/high_school/next_basis_of_learning_project

Q.1 緊迫する国際情勢、人口減少・少子高齢化などにより、社会経済の（ ）が増大。また、デジタル技術の（ ）的な進化で子供たちを取り巻く環境もめまぐるしく変わっています。このような（ ）な時代の中で、社会の変化に柔軟に対応し、（ ）の育成が教育の役割と考えました。

▶「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」及び「東京都における中学校の部活動改革に関する推進計画」の策定について 2026 年 3 月 26 日

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2026/03/2026032603>

Q. 2 生徒の心身の成長に配慮して健康に生動を送れるよう、週（ ）日以上以上の休養日を設定し、動改時間は、平日は1日（ ）時間程度以内、休日は1日（ ）時間程度以内とし、週当たりの動改時間は 11 時間程度の範囲内とすること。その上で、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な動改となっていること

▶都立高校におけるチャレンジサポートプラン《概要版》2025 年 6 月 5 日

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/highschool_challenge_support_plan_1_gaiyou

Q. 3 スクールカウンセラーSC、ユースソーシャルワーカーYSW の違いは何でしょう。

将来、教員採用試験を受験しようと考えている皆さんへ

採用試験には小論文もしくは面接のいずれかは必ず課されています。小論文のテーマは、格好の質問事項です。面接官が、

Q.1 この自治体では、**命を尊重する**ことを教育の柱としています。あなたはそのことについてどう考えますか。

A.1 当然大切です。

Q.2 ではどうしてそう考えるのですか。

Q.3 命を尊重することを大切するためには、どのような力が必要ですか。

Q.4 その力を、あなたが志望する校種と教科で、どのように育てますか。具体的に教えてください。

命を尊重するが、**思いやりと共感**、自らの個性や能力を伸ばす力などが入ります。独りよがりの意見ではなく、**根拠**（公示されている文章やデータ）を明確にしたうえでの自分の意見を構築してください。



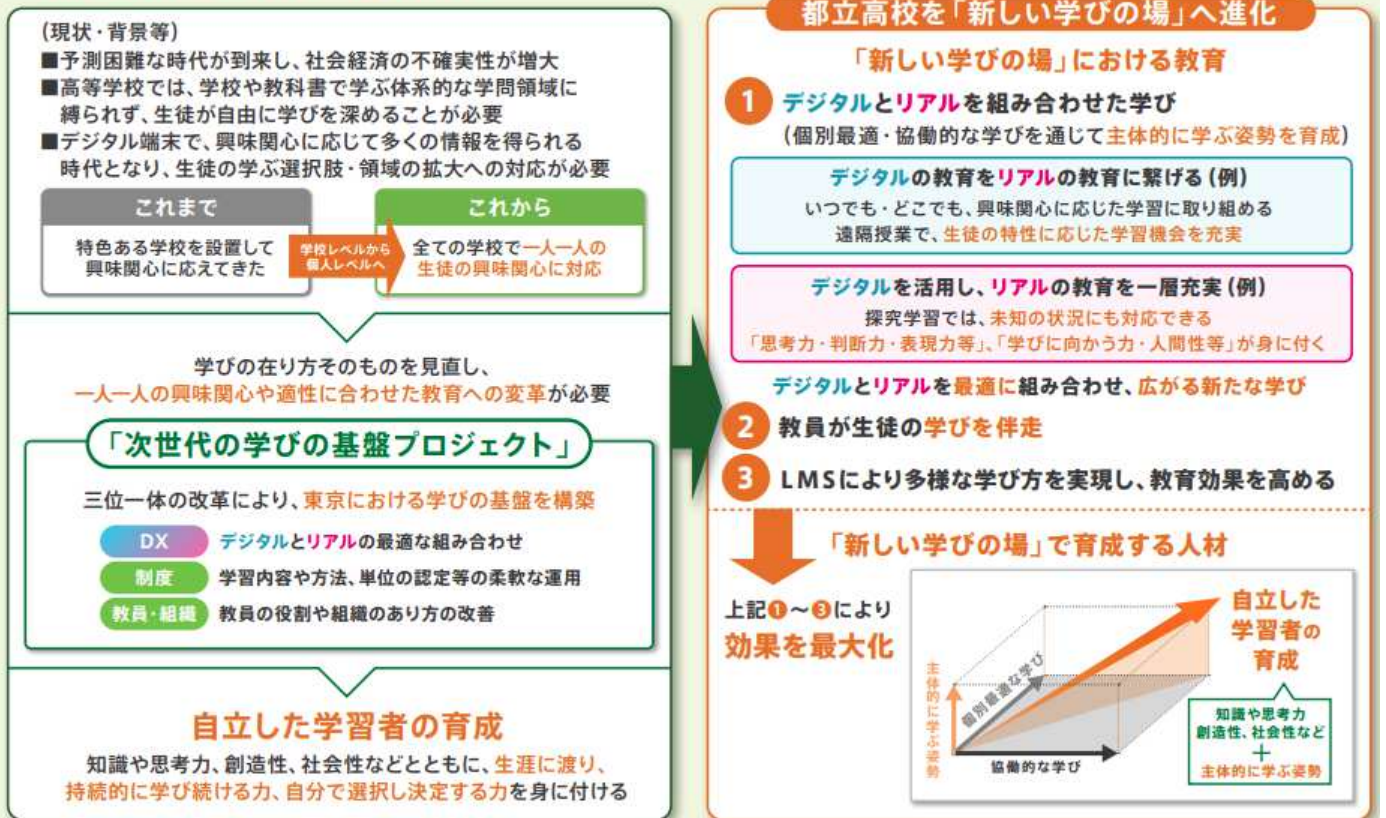
KEY WORD ~自立した学習者の育成~



「自立した学習者の育成」とは、どのように育成することなのでしょうか。また、どのような力が必要なのでしょうか。各自治体で示されています。

東京都が目指す「次世代の学びの基盤プロジェクト」(概要)

~「新たな教育のスタイル」の確立に向けて~



LMSとは：Learning Management System 東京都のシステム名称です。

では、実際にどのような授業が考えられるのでしょうか。あなたの考える具体的な取組を考えてみましょう。

まずは先例を知ることは大切です。知るにより内容の理解は深まります。特殊な事の例示でなく、理解と実行の熱意を問うているのです。

事例：千葉市 [①授業改善に関する研究](#)

自立した学習者の育成を目指す学びの在り方ー 見通し・振り返り・自己調整を大切にー

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoiku/documents/r5kiyou1.pdf>